

2008.1.10 晴れ 三井寺から長等山・如意ヶ岳・大文字山を経て山科・毘沙門



三井寺の三尾影向石（地図①）

今回の山行のGPSは当初の意図であった、身

近な山のルートを紹介できそうだ。コースは三井寺から長等山・如意ヶ岳・大文字山を経て山科・毘沙門。京阪三井寺を9時に出発し、お昼は大文字山でとり、JR山科着が13:15で概ね4時間強。迷ったのは2箇所、地図の②と⑨の場所。



左は坊越の峠（地図）右は見石（地図④）

②のミスは林道を素直に進んだため、西に行くべき

きところが北に進むので？と気付く。戻り、林道からはずれて西に向かう道を選ぶ。25000の地図にも道が記載されていないので山勘しかない。



左はP354分岐（地図⑤）右は長等山分岐（地図⑥）

坊越の峠にも標識はない。進路を北にとる。見石と呼ばれ

る石仏を過ぎると山火事注意の標識にこまごまと案内が記入されている。P354の方向など。



左は長等山まで5分（地図⑤）右は山頂標識

西に進むと長等山分岐の標識があり、奥の標識には山頂までの時間も記入。ゴルフ場を左に見ながら

7-8分で三角点のある長等山山頂に到着。



左は県境（地図⑧）右は如意ヶ岳山頂（地図⑩）

分岐に戻り、進路を再び西にとる。県境には鉄塔がドーンと建っている。

更に西に行くと正面に林道のガードレールが見えてきた。が、道は南（左）に。



左は雨神社（地図⑪）右は池谷地藏分岐（地図⑫）

どんどん南に行くから不安に思っていたら、林道（地図⑨）に出

しまった。このまま林道を進んでも如意ヶ岳に行けそうだが、相当な遠道になりそうなので、最悪、稜線に戻ることを決めた。が、戻ってすぐに、ちゃんとした道があることに



左は蹴上への分岐（地図⑬）右は大文字山より京都市内（地図⑭）

気付く。ここは三叉路のなっていた。北に方向をとり、稜線の林道

に行ける予感。アスファルトの林道に到着。如意ヶ岳方向からひとりのおじさんが歩いてきた。車を東の方において歩いてきたとのこと。大文字山に行くというと、山頂に建物があり、西に行く道がなかったとのこと。そんなはずはないと山頂に進む。



左は蹴上と山科の分岐（地図⑮）右は山科と安祥寺分岐（地図⑯）

山頂には航空関連の建物があり、

山頂には標識もあった。

大文字山には建物の手前の左手にあるテープが目印の道を行く。この道が建物を避けた南側の道だ。稜線にもどり、しばらくで右手に雨神社と出会う。



左が山科への谷道、右が後山階陵跡（地図⑰）

池谷地藏、蹴上への分岐を経て、大文字山の山頂に。

山頂でちょうど昼時のためか、人も多く、20人はいた。蹴上、山科、大文字火床方面からだ。平日のせいかな、元気なおじさん、おばさんたちでいっぱい。霞んでいて景色も悪いので昼食をとって写真は1枚のみで、山科に向かうことにした。



左は山科聖天（地図⑱）右は毘沙門堂（地図⑲）

蹴上への分岐、山科への分岐を経て、谷道を下り、後山階陵跡、山科聖天、毘沙門堂を経てJR山科に到着。初めてのコースであったが、GPSの活躍で大きなトラブルもなく、満足した山行であった。春や秋ならもっと景色を楽しめたと思う。とくに、毘沙門の紅葉はよかったであろう。

コースタイム

京阪三井寺 9:00 長等山分岐 10:01 長等山 10:09 分岐戻る 10:15 違う林道 10:40 如意ヶ岳 11:03 雨神社 11:19 大文字山 11:37-12:14 蹴上・山科分岐 12:25 毘沙門堂 13:01 JR山科 13:15

次ページの地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）及び数値地図50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

トップページは<http://www7a.biglobe.ne.jp/~tilmame/> です。

